

各都道府県消防主管部長 殿

消防庁危険物規制課長

危険物等の運搬又は移送中における事故時の措置・連絡用資料の送付について(通達)

危険物等の運搬又は移送中における事故防止については、日頃から尽力願っているところである。

危険物等の運搬又は移送中における事故については、運転者等の適切な初期対応及び消防機関等に対する適切な情報提供が重要であることを踏まえ、(社)日本化学工業協会では消防庁の指導のもと化学物品の危険性等に関し、関係者への情報提供を目的とした措置・連絡用資料(通称「イエローカード」)のモデルを作成し、会員各社においてはこれをもとに物品毎に措置・連絡用資料を作成するとともに連絡体制等の整備を行い、運搬又は移送時にこれを車両に積載することとしている。

これらが普及していくことは、危険物等の運搬又は移送時の事故の被害を防止するうえで有用と考えられるので、(社)日本化学工業協会が作成した関係資料を送付するので執務上の参考とされたい。

本件については、今後関係各社において取り扱われる化学物品に対応した資料の作成と普及が順次図られていくこととなるが、代表的物品についての資料作成が進んだ段階であらためて資料送付を行う予定であることを申し添える。

なお、貴管下市町村に対しても送付願いたい。

品名		三酸化ニクロム（無水クロム酸）													
該当法規対応・危険有害性															
消 防 法						毒物及び劇物取締法			高圧ガス取締法						
類 別						性 質 (法別表)	品 名 (法別表)	毒 物	劇 物	特 定 毒 物	一 般 高 圧 ガ ス	液 化 石 油 ガ ス			
第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類										
●						酸化性固体	クロム・鉛又は よう素の酸 化物		●						
特 性	危 険 性			有 害 性			環 境 汚 染 性		性 状						
	禁水性	爆発性	可燃性	有毒ガス発生	目・皮膚に 触れると危険	河川への 流入注意	固 体	液 体	気 体	水 溶 性					
					●	●	●				●				
事故発生時の応急措置 ① 車を、安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害にならないような場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする) ② 事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。 ③ 付近の可燃物を遠ざける。 ④ 保護具を着用し、飛散防止・回収を行う。															
緊急通報 119 (消防署) 110 (警察署) [緊急通報例] 1 いつ ○○時○○分頃 2 どこで ○○市○○地区(国・県・市)道○○号線 ○○付近で 3 なにが 「三酸化ニクロム(無水クロム酸)(消防法危険物第1類 酸化性固体、劇物)」が 4 どうした 飛散しています、飛散して周辺火災が発生しております 5 ケガ人は ケガ人がいます(救急車をお願いします) ケガ人はいません 6 私の名前は ○○運送会社 ○○です															
緊急連絡 (特に休日・夜間に確実に連絡が取れる部署の電話番号を記入する)															
荷送会社				○○○○○				運送会社				△△△△			
住 所				○○○○○				住 所				△△△△			
電 話				平日・昼間000-000-0000				電 話				平日・昼間000-000-0000			
				休日・夜間000-000-0000								休日・夜間000-000-0000			

品名	三酸化ニクロム（無水クロム酸）
災害拡大防止処置	
<p>飛散したとき</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保護具を着用し、風上で作業し、飛散防止の為に土砂等で覆う。 ② 還元剤、有機物と接触すると発火・爆発する危険性があるので、付近の還元剤、有機物等の可燃物を遠ざける。 ③ 地面に飛散している製品を、スコップ、ほうき等で他の容器に回収する。 ④ 回収後、飛散場所を硫酸第一鉄水溶液で、洗浄する。 <p>周辺火災のとき</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 容器を安全な場所に移動する。 ② 移動が不可能な場合には、容器または周囲に散水し冷却する。 <p>救急措置</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 皮膚に付着した場合は、直ちに衣服や靴を脱がせて、多量の水で十分に洗う。 ② 粉じんを吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静・保温に保ち、呼吸困難な場合や呼吸が停止している場合は、人工呼吸を行う。 ③ 眼に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗う。 ④ 患者が発生した場合は、もよりの病院へ運ぶ。 	
特記事項	
<ol style="list-style-type: none"> ① 皮膚に触れると薬傷を起こす。 ② 眼に入ると結膜炎を起こす。 ③ 水と接触すると激しく発熱する、また注水による水溶液は有毒である。 	

品名		硫 化 リ ン										
該当法規対応・危険有害性												
消 防 法						毒物及び劇物取締法			高圧ガス取締法			
類 別						性 質 (法別表)	品 名 (法別表)	毒 物	劇 物	特 定 毒 物	一 般 高 圧 ガ ス	液 化 石 油 ガ ス
第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類							
	●					可燃性固体	硫化リン	●				
特 性	危 険 性			有 害 性			環 境 汚 染 性		性 状			
	禁水性	爆発性	可燃性	有毒ガス発生	目・皮膚に 触れると危険	河川への 流入注意	固 体	液 体	気 体	水 溶 性		
	●	●	●	●	●		●					
事故発生時の応急措置												
<p>① 車を、安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害にならないような場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする)</p> <p>② 事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。</p> <p>③ 禁水物質、火気厳禁です。エンジンの熱や火花は着火源になる。</p> <p>④ 保護具を着用し、飛散防止・回収または消火を行う。</p>												
緊急通報												
119 (消防署) 110 (警察署)												
〔緊急通報例〕												
1 いつ ○○時○○分頃												
2 どこで ○○市○○地区(国・県・市)道○○号線 ○○付近で												
3 なにが 「硫化リン(消防法危険物第2類 可燃性固体、毒物)」 が												
4 どうした 飛散しています、飛散して火災になっております												
5 ケガ人は ケガ人がいます(救急車をお願いします) ケガ人はいません												
6 私の名前は ○○運送会社 ○○です												
緊急連絡												
(特に休日・夜間に確実に連絡が取れる部署の電話番号を記入する)												
荷送会社			○○○○○			運送会社			△△△△			
住 所			○○○○○			住 所			△△△△			
電 話			平日・昼間000-000-0000			電 話			平日・昼間000-000-0000			
			休日・夜間000-000-0000						休日・夜間000-000-0000			

品名	硫 化 リ ン
災 害 拡 大 防 止 処 置	
<p>飛散したとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 必ず保護具を着用し、風上で作業し、飛散防止の為に乾燥砂で覆う。 ② 火気、湿気、水の使用は厳禁。 ③ 過酸化物、金属粉と接触すると発火するので、過酸化物、金属粉を遠ざける。 ④ 至急関係先に連絡し、回収については専門家の指示をうけて空容器に回収する。 <p>発火したとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 有毒ガス（亜硫酸ガス、五酸化リン）が発生するので、必ず保護具を着用して風上で作業する。 ② 消火する場合は、乾燥砂、粉末消火剤を用いて消火する。 <p>救急措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 皮膚に付着した場合は、直ちに衣服や靴を脱がせて、多量の水で十分に洗う。 ② 粉じんを吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静・保温に保ち、呼吸困難な場合や呼吸が停止している場合は、人工呼吸を行う。 ③ 眼に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗う。 ④ 患者が発生した場合は、もよりの病院へ運ぶ。 	
特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ① 禁水性物質です。 ② 皮膚に触れると皮膚炎、脱色を起こす。 ③ 加熱、発火時の発生ガス（亜硫酸ガス、五酸化リン）は有毒である。 	

品名	黄 リ ン
災害拡大防止処置	
<p>飛散したとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 空気に触れると発火して有害性のガスが発生するので、必ず保護具を着用して風上で作業する。 ② 土砂または多量の水で表面を覆い、付近への飛散拡大防止のため、周囲を土砂等で囲う。 ③ 衝撃・摩擦・加熱により発火する可能性があるので、回収する場合は適量の水を散布し、必ず非金属製用具を用いて水を満たした空容器に回収する。 <p>発火したとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 有毒ガスが発生するので、必ず保護具を着用して、風上で作業する。 ② 付近の住民等を安全な場所に避難させる。 ③ 消火する場合には水噴霧を用いて消火し、黄リンが固体になるまで注水する。 ④ 容器が加熱されている場合は、容器または周囲に散水して冷却する。 <p>救急措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 皮膚に付着した場合は、直ちに衣服や靴を脱がせて、石けん水で洗浄し多量の水で十分に洗い流す。 ② 吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静・保温に保ち、呼吸困難な場合や呼吸が停止している場合は、人工呼吸を行う。 ③ 眼に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗う。 ④ 患者が発生した場合は、もよりの病院へ運ぶ。 	
特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ① 皮膚に触れると薬傷を起こす。 ② 火災の場合、燃焼ガスを吸込むと肺水腫を起こすことがある。 ③ 眼に入った場合は、激しい障害を起こす。 	

品名		シアン化水素													
該当法規対応・危険有害性															
消 防 法						毒物及び劇物取締法			高圧ガス取締法						
類 別						性 質 (法別表)	品 名 (法別表)	毒物	劇物	特定毒物	一般高圧 ガス	液化石油 ガス			
第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類										
			●			引火性液体	第1石油類	●							
特 性	危 険 性			有 害 性			環 境 汚 染 性		性 状						
	禁水性	爆発性	可燃性	有毒ガス発生	目・皮膚に 触れると危険	河川への 流入注意	固 体	液 体	気 体	水 溶 性					
		●	●	●	●	●		●							
事故発生時の応急措置 ① 車を、安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害にならないような場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする) ② 事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。 ③ 火気厳禁です。エンジンの熱や火花は着火源になる。 ④ 保護具を着用し、漏れ防止・回収または消火を行う。															
緊急通報 119 (消防署) 110 (警察署) [緊急通報例] 1 いつ ○○時○○分頃 2 どこで ○○市○○地区(国・県・市)道○○号線 ○○付近で 3 なにが 「シアン化水素(消防法危険物第4類、第1石油類、毒物)」が 4 どうした 漏れています、漏れて火災になっております 5 ケガ人は ケガ人がいます(救急車をお願いします) ケガ人はいません 6 私の名前は ○○運送会社 ○○です															
緊急連絡 (特に休日・夜間に確実に連絡が取れる部署の電話番号を記入する)															
荷送会社				○○○○○				運送会社				△△△△			
住 所				○○○○○				住 所				△△△△			
電 話				平日・昼間000-000-0000				電 話				平日・昼間000-000-0000			
				休日・夜間000-000-0000								休日・夜間000-000-0000			

品名	シアン化水素
災害拡大防止処置	
<p>漏洩したとき</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 有害ガス発生、引火・爆発の可能性があるので、必ず保護具を着用して風上で作業する。 ② 付近への流出拡大防止のため、周囲を土砂等で囲い、砂、土、吸着マット等に吸着させ、空容器に回収する。 ③ 回収後、次亜塩素酸ナトリウム高度サラシ粉のアルカリ水溶液で酸化分解、または硫酸鉄の水酸化ナトリウム溶液で中和した後、多量の水で洗い流す。但し、直接河川、用水路には流さない。 <p>引火・発火したとき</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 有毒ガスが発生するので、必ず保護具を着用する。 ② 爆発の危険性があるので、付近の住民等を安全な場所に避難させる。 ③ 消火する場合は、粉末、水噴霧を用いて消火する。 ④ 容器が加熱されている場合は、爆発防止のために容器または周囲に散水して冷却する。 <p>救急措置</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 皮膚に付着した場合は、直ちに衣服や靴を脱がせて、多量の水で十分に洗う。 ② 吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静・保温に保ち、呼吸困難な場合や呼吸が停止している場合は、人工呼吸を行う。 ③ 眼に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗う。 ④ 患者が発生した場合は、もよりの病院へ運ぶ。 	
特記事項	
<ol style="list-style-type: none"> ① 皮膚に触れると中毒症状を起こし呼吸困難、意識不明、死亡にいたる。 ② 吸入すると中毒症状を起こし呼吸困難、意識不明、死亡にいたる。 ③ 眼に入ると、刺激性があり吸収され中毒症状を起こすことがある。 	

品名	三酸化ニクロム (無水クロム酸)											
該当法規対応・危険有害性												
消 防 法						毒物及び劇物取締法			高圧ガス取締法			
類 別						性 質 (法別表)	品 名 (法別表)	毒 物	劇 物	特 定 毒 物	一 般 高 圧 ガ ス	液 化 石 油 ガ ス
第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類							
●						酸化性固体	クロム・鉛又は 亜鉛の酸 化物		●			
特 性	危 険 性			有 害 性			環 境 汚 染 性	性 状				
	禁水性	爆発性	可燃性	有毒ガス発生	目・皮膚に 触れると危険	河川への 流入注意	固 体	液 体	気 体	水 溶 性		
						●	●	●				●
事故発生時の応急措置												
① 車を、安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害にならないような場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする)												
② 事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。												
③ 付近の可燃物を遠ざける。												
④ 保護具を着用し、飛散防止・回収を行う。												
緊急通報												
119 (消防署) 110 (警察署)												
〔緊急通報例〕												
1	いつ			〇〇時〇〇分頃								
2	どこで			〇〇市〇〇地区(国・県・市)道〇〇号線 〇〇付近で								
3	なにが			「三酸化ニクロム(無水クロム酸)(消防法危険物第1類 酸化性固体、劇物)」が								
4	どうした			飛散しています、飛散して周辺火災が発生しております								
5	ケガ人は			ケガ人がいます(救急車をお願いします) ケガ人はいません								
6	私の名前は			〇〇運送会社 〇〇です								
緊急連絡												
(特に休日・夜間に確実に連絡が取れる部署の電話番号を記入する)												
荷送会社	〇〇〇〇〇			運送会社	△△△△							
住 所	〇〇〇〇〇			住 所	△△△△							
電 話	平日・昼間000-000-0000			電 話	平日・昼間000-000-0000							
	休日・夜間000-000-0000				休日・夜間000-000-0000							

品名	三酸化ニクロム（無水クロム酸）
災害拡大防止処置	
<p>飛散したとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 保護具を着用し、風上で作業し、飛散防止の為に土砂等で覆う。 ② 還元剤、有機物と接触すると発火・爆発する危険性があるので、付近の還元剤、有機物等の可燃物を遠ざける。 ③ 地面に飛散している製品を、スコップ、ほうき等で他の容器に回収する。 ④ 回収後、飛散場所を硫酸第一鉄水溶液で、洗浄する。 <p>周辺火災のとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 容器を安全な場所に移動する。 ② 移動が不可能な場合には、容器または周囲に散水し冷却する。 <p>救急措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 皮膚に付着した場合は、直ちに衣服や靴を脱がせて、多量の水で十分に洗う。 ② 粉じんを吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静・保温に保ち、呼吸困難な場合や呼吸が停止している場合は、人工呼吸を行う。 ③ 眼に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗う。 ④ 患者が発生した場合は、もよりの病院へ運ぶ。 	
特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ① 皮膚に触れると薬傷を起こす。 ② 眼に入ると結膜炎を起こす。 ③ 水と接触すると激しく発熱する、また注水による水溶液は有毒である。 	

品名	硫 化 リ ン														
該当法規対応・危険有害性															
消 防 法						毒物及び劇物取締法				高圧ガス取締法					
類 別						性 質 (法別表)	品 名 (法別表)	毒 物	劇 物	特 定 毒 物	一 般 高 圧 ガ ス	液 化 石 油 ガ ス	性 状		
第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類								固 体	液 体	気 体
	●					可燃性固体	硫化リン	●							
特 性	危 険 性			有 害 性			環 境 汚 染 性		性 状						
	禁水性	爆発性	可燃性	有毒ガス発生	目・皮膚に 触れると危険	河川への 流入注意	固 体	液 体	気 体	水 溶 性					
	●	●	●	●	●	●			●						
事故発生時の応急措置															
<p>① 車を、安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害にならないような場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする)</p> <p>② 事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。</p> <p>③ 禁水物質、火気厳禁です。エンジンの熱や火花は着火源になる。</p> <p>④ 保護具を着用し、飛散防止・回収または消火を行う。</p>															
緊急通報															
119 (消防署) 110 (警察署)															
〔緊急通報例〕															
1 いつ ○○時○○分頃															
2 どこで ○○市○○地区(国・県・市)道○○号線 ○○付近で															
3 なにが 「硫化リン(消防法危険物第2類 可燃性固体、毒物)」 が															
4 どうした 飛散しています、飛散して火災になっております															
5 ケガ人は ケガ人がいます(救急車をお願いします) ケガ人はいません															
6 私の名前は ○○運送会社 ○○です															
緊急連絡															
(特に休日・夜間に確実に連絡が取れる部署の電話番号を記入する)															
荷送会社				○○○○○				運送会社				△△△△			
住 所				○○○○○				住 所				△△△△			
電 話				平日・昼間000-000-0000 休日・夜間000-000-0000				電 話				平日・昼間000-000-0000 休日・夜間000-000-0000			

品名	硫 化 リ ン
災害拡大防止処置	
<p>飛散したとき</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 必ず保護具を着用し、風上で作業し、飛散防止の為に乾燥砂で覆う。 ② 火気、湿気、水の使用は厳禁。 ③ 過酸化物、金属粉と接触すると発火するので、過酸化物、金属粉を遠ざける。 ④ 至急関係先に連絡し、回収については専門家の指示をうけて空容器に回収する。 <p>発火したとき</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 有毒ガス（亜硫酸ガス、五酸化リン）が発生するので、必ず保護具を着用して風上で作業する。 ② 消火する場合は、乾燥砂、粉末消火剤を用いて消火する。 <p>救急措置</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 皮膚に付着した場合は、直ちに衣服や靴を脱がせて、多量の水で十分に洗う。 ② 粉じんを吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静・保温に保ち、呼吸困難な場合や呼吸が停止している場合は、人工呼吸を行う。 ③ 眼に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗う。 ④ 患者が発生した場合は、もよりの病院へ運ぶ。 	
特記事項	
<ol style="list-style-type: none"> ① 禁水性物質です。 ② 皮膚に触れると皮膚炎、脱色を起こす。 ③ 加熱、発火時の発生ガス（亜硫酸ガス、五酸化リン）は有毒である。 	

品名	黄 リ ン											
該当法規対応・危険有害性												
消 防 法						毒物及び劇物取締法			高圧ガス取締法			
類 別						性 質 (法別表)	品 名 (法別表)	毒 物	劇 物	特 定 毒 物	一 般 高 圧 ガ ス	液 化 石 油 ガ ス
第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類							
		●				自然発火性 物質及び禁 水性物質	黄 リ ン	●				
特 性	危 険 性			有 害 性				環 境 汚 染 性		性 状		
	禁水性	爆発性	可燃性	有毒ガス発生	目・皮膚に 触れると危険	河川への 流入注意	固 体	液 体	気 体	水 溶 性		
			●	●	●	●	●					
事故発生時の応急措置												
① 車を、安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害にならないような場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする) ② 事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。 ③ 火気厳禁です、エンジンの熱や火花は着火源になる。 ④ 保護具を着用し、飛散防止・回収または消火を行う。												
緊急通報												
119 (消防署) 110 (警察署)												
〔緊急通報例〕												
1	いつ	〇〇時〇〇分頃										
2	どこで	〇〇市〇〇地区(国・県・市)道〇〇号線 〇〇付近で										
3	なにが	「黄リン(消防法危険物第3類 自然発火性物質及び禁水性物質、毒物)」が										
4	どうした	飛散しています、飛散して火災になっております										
5	ケガ人は	ケガ人がいます(救急車をお願いします) ケガ人はいません										
6	私の名前は	〇〇運送会社 〇〇です										
緊急連絡												
(特に休日・夜間に確実に連絡が取れる部署の電話番号を記入する)												
荷送会社	〇〇〇〇〇					運送会社	△△△△					
住 所	〇〇〇〇〇					住 所	△△△△					
電 話	平日・昼間	000-000-0000				電 話	平日・昼間	000-000-0000				
		休日・夜間000-000-0000						休日・夜間000-000-0000				

品名	黄 リ ン
災害拡大防止処置	
<p>飛散したとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 空気に触れると発火して有害性のガスが発生するので、必ず保護具を着用して風上で作業する。 ② 土砂または多量の水で表面を覆い、付近への飛散拡大防止のため、周囲を土砂等で囲う。 ③ 衝撃・摩擦・加熱により発火する可能性があるので、回収する場合は適量の水を散布し、必ず非金属製用具を用いて水を満たした空容器に回収する。 <p>発火したとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 有毒ガスが発生するので、必ず保護具を着用して、風上で作業する。 ② 付近の住民等を安全な場所に避難させる。 ③ 消火する場合には水噴霧を用いて消火し、黄リンが固体になるまで注水する。 ④ 容器が加熱されている場合は、容器または周囲に散水して冷却する。 <p>救急措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 皮膚に付着した場合は、直ちに衣服や靴を脱がせて、石けん水で洗浄し多量の水で十分に洗い流す。 ② 吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静・保温に保ち、呼吸困難な場合や呼吸が停止している場合は、人工呼吸を行う。 ③ 眼に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗う。 ④ 患者が発生した場合は、もよりの病院へ運ぶ。 	
特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ① 皮膚に触れると薬傷を起こす。 ② 火災の場合、燃焼ガスを吸込むと肺水腫を起こすことがある。 ③ 眼に入った場合は、激しい障害を起こす。 	

品名		シアン化水素													
該当法規対応・危険有害性															
消 防 法						毒物及び劇物取締法			高圧ガス取締法						
類 別						性 質 (法別表)	品 名 (法別表)	毒物	劇物	特定毒物	一般高圧ガス	液化石油ガス			
第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類										
			●			引火性液体	第1石油類	●							
特 性	危 険 性			有 害 性			環 境 汚 染 性		性 状						
	禁水性	爆発性	可燃性	有毒ガス発生	目・皮膚に 触れると危険	河川への 流入注意	固 体	液 体	気 体	水 溶 性					
		●	●	●	●	●		●							
事故発生時の応急措置 ① 車を、安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害にならないような場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする) ② 事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。 ③ 火気厳禁です。エンジンの熱や火花は着火源になる。 ④ 保護具を着用し、漏れ防止・回収または消火を行う。															
緊急通報 119 (消防署) 110 (警察署) 〔緊急通報例〕 1 いつ ○○時○○分頃 2 どこで ○○市○○地区(国・県・市)道○○号線 ○○付近で 3 なにが 「シアン化水素(消防法危険物第4類、第1石油類、毒物)」が 4 どうした 漏れています、漏れて火災になっております 5 ケガ人は ケガ人がいます(救急車をお願いします) ケガ人はいません 6 私の名前は ○○運送会社 ○○です															
緊急連絡 (特に休日・夜間に確実に連絡が取れる部署の電話番号を記入する)															
荷送会社				○○○○○				運送会社				△△△△			
住 所				○○○○○				住 所				△△△△			
電 話				平日・昼間000-000-0000				電 話				平日・昼間000-000-0000			
				休日・夜間000-000-0000								休日・夜間000-000-0000			

品名	シアン化水素
災害拡大防止処置	
<p>漏洩したとき</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 有害ガス発生、引火・爆発の可能性があるので、必ず保護具を着用して風上で作業する。 ② 付近への流出拡大防止のため、周囲を土砂等で囲い、砂、土、吸着マット等に吸着させ、空容器に回収する。 ③ 回収後、次亜塩素酸ナトリウム高度サラシ粉のアルカリ水溶液で酸化分解、または硫酸鉄の水酸化ナトリウム溶液で中和した後、多量の水で洗い流す。但し、直接河川、用水路には流さない。 <p>引火・発火したとき</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 有毒ガスが発生するので、必ず保護具を着用する。 ② 爆発の危険性があるので、付近の住民等を安全な場所に避難させる。 ③ 消火する場合は、粉末、水噴霧を用いて消火する。 ④ 容器が加熱されている場合は、爆発防止のために容器または周囲に散水して冷却する。 <p>救急措置</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 皮膚に付着した場合は、直ちに衣服や靴を脱がせて、多量の水で十分に洗う。 ② 吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静・保温に保ち、呼吸困難な場合や呼吸が停止している場合は、人工呼吸を行う。 ③ 眼に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗う。 ④ 患者が発生した場合は、もよりの病院へ運ぶ。 	
特記事項	
<ol style="list-style-type: none"> ① 皮膚に触れると中毒症状を起し呼吸困難、意識不明、死亡にいたる。 ② 吸入すると中毒症状を起し呼吸困難、意識不明、死亡にいたる。 ③ 眼に入ると、刺激性があり吸収され中毒症状を起すことがある。 	

品名		チオセミカルバジド										
該当法規対応・危険有害性												
消 防 法						毒物及び劇物取締法			高圧ガス取締法			
類 別						性 質 (法別表)	品 名 (法別表)	毒 物	劇 物	特 定 毒 物	一 般 高 圧 ガ ス	液 化 石 油 ガ ス
第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類							
				●		事故反応性物質 ヒドラジンの誘導体	●					
特 性	危 険 性			有 害 性			環 境 汚 染 性		性 状			
	禁水性	爆発性	可燃性	有毒ガス発生	目・皮膚に 触れると危険	河川への 流入注意	固 体	液 体	気 体	水 溶 性		
		●	●	●	●	●	●	●				
事故発生時の応急措置 ① 車を、安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害にならないような場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする) ② 事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。 ③ 火気厳禁、エンジンの熱や火花は着火源になる。 ④ 保護具を着用し、飛散防止・回収または消火を行う。 爆発性物質であり、消火の場合は、火炎から離れた所から消火する。												
緊急通報 119 (消防署) 110 (警察署) [緊急通報例] 1 いつ ○○時○○分頃 2 どこで ○○市○○地区(国・県・市)道○○号線 ○○付近で 3 なにか 「チオセミカルバジド(消防法危険物第5類、自己反応性物質、毒物)」が 4 どうした 飛散しています、飛散して火災になっています 5 ケガ人は ケガ人がいます(救急車をお願いします) ケガ人はいません 6 私の名前は ○○運送会社 ○○です												
緊急連絡 (特に休日・夜間に確実に連絡が取れる部署の電話番号を記入する)												
荷送会社		○○○○○			運送会社		△△△△					
住 所		○○○○○			住 所		△△△△					
電 話		平日・昼間000-000-0000			電 話		平日・昼間000-000-0000					
		休日・夜間000-000-0000					休日・夜間000-000-0000					

品名	チオセミカルバジド
災害拡大防止処置	
<p>飛散したとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 有毒ガス発生、皮膚及び眼に対する刺激性が強いため、必ず保護具を着用し風上で作業する。 ② 付近への流出拡大防止のため、周囲を土砂等で囲う。 ③ 衝撃・摩擦・加熱により爆発する可能性があるため、回収する場合は適量の水を散布し、必ず非金属製用具を用いて空容器に回収する。 <p>発火したとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 有毒ガスが発生するため、必ず保護具を着用する。 ② 爆発の危険性があるため、付近の住民等を安全な場所に避難させる。 ③ 消火する場合は、火炎から離れた場所から多量の水を用いて消火する。 <p>救急措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 皮膚に付着した場合は、直ちに衣服や靴を脱がせて、多量の水で十分に洗う。 ② 吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静・保温を保ち、呼吸困難な場合や呼吸が停止している場合は、人工呼吸を行う。 ③ 眼に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗う。 ④ 患者が発生した場合は、もよりの病院へ運ぶ。 	
特記事項	

品名		硝 酸											
該当法規対応・危険有害性													
消 防 法						毒物及び劇物取締法			高圧ガス取締法				
類 別						性 質 (法別表)	品 名 (法別表)	毒 物	劇 物	特 定 毒 物	一 般 高 圧 ガ ス	液 化 石 油 ガ ス	
第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類								
					●	酸化性液体	硝 酸		●				
特 性	危 険 性			有 害 性			環 境 汚 染 性		性 状				
	禁水性	爆発性	可燃性	有毒ガス発生	目・皮膚に 触れると危険	河川への 流入注意	固 体	液 体	気 体	水 溶 性			
				●	●	●		●		●			
事故発生時の応急措置 ① 車を、安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害にならないような場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする) ② 事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。 ③ 周囲の可燃物を遠ざける。 ④ 保護具を着用し、漏れ止め・回収を行う。													
緊急通報 119 (消防署) 110 (警察署) 〔緊急通報例〕 1 いつ ○○時○○分頃 2 どこで ○○市○○地区(国・県・市)道○○号線 ○○付近で 3 なにか 「硝酸、(消防法危険物第6類、酸化性液体、劇物)」 が 4 どうした 漏れています 5 ケガ人は ケガ人がいます(救急車をお願いします) ケガ人はいません 6 私の名前は ○○運送会社 ○○です													
緊急連絡 (特に休日・夜間に確実に連絡が取れる部署の電話番号を記入する)													
荷送会社	○○○○○					運送会社	△△△△						
住 所	○○○○○					住 所	△△△△						
電 話	平日・昼間	000-000-0000			休日・夜間	000-000-0000		電 話	平日・昼間	000-000-0000			
		000-000-0000				000-000-0000				000-000-0000			

品名	硝 酸
災 害 拡 大 防 止 処 置	
<p>漏洩したとき</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 有毒ガス発生、皮膚及び眼に対する刺激性が強いため、必ず保護具を着用する。 ② 砂、吸着マット等に吸着させ、密閉できるポリエチレン製容器に回収する。 流出拡大防止のため、周囲を土砂等で囲う。 ③ 回収後、水で洗い流す場合はある程度希釈した後、消石灰、ソーダ灰で中和し、多量の水で洗い流す。但し直接河川、用水路には流さない。 <p>周辺火災のとき</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 容器を安全な場所に移す。 ② 容器が加熱されている場合は、容器および周囲に散水して冷却する。 <p>発火したとき</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 有毒ガスが発生するので、必ず保護具を着用する。 ② 消火する場合は水噴霧を用いて消火する。 <p>救急措置</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 皮膚に付着した場合は、直ちに衣服や、靴を脱がせて、多量の水で十分に洗う。 ② 吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静・保温を保ち、呼吸困難な場合や呼吸が停止している場合は、人工呼吸を行う。 ③ 眼に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗う。 ④ 患者が発生した場合は、もよりの病院へ運ぶ。 	
特記事項	
<ol style="list-style-type: none"> ① 吸入すると肺水腫を起こすことがある。 ② 皮膚に触れると薬傷を起こす。 ③ 眼に入ると失明することがある。 	

品名							シアン化ナトリウム							
該当法規対応・危険有害性														
消 防 法							毒物及び劇物 取 締 法			高圧ガス 取 締 法				
類 別						性 質 (法別表)	品 名 (法別表)	毒 物	劇 物	特 定 毒 物	一 般 高 圧 ガ ス	液 化 ガ ス 石 油	特 性	
第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類									
							●							
危 険 性			有 害 性				環 境 汚 染 性		性 状					
禁水性	爆発性	可燃性	有毒ガス発生	目・皮膚に触れると危険	河川への流入注意	固 体	液 体	気 体	水溶性					
			●	●	●	●			●					
事故発生時の応急措置														
<p>① 車を、安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害にならないような場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする)</p> <p>② 事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。</p> <p>③ 保護具を着用し、飛散防止・回収を行う。</p>														
緊急通報 119 (消防署) 110 (警察署)														
〔緊急通報例〕														
1	いつ	〇〇時〇〇分頃												
2	どこで	〇〇市〇〇地区 (国・県・市) 道〇〇号線 〇〇付近で												
3	なにが	「シアン化ナトリウム (毒物)」が												
4	どうした	飛散しています												
5	ケガ人は	ケガ人がいます(救急車をお願いします)ケガ人はいません												
6	私の名前は	〇〇運送会社 〇〇です												
緊急連絡(特に休日・夜間に確実に連絡が取れる部署の電話番号を記入する)														
荷送会社		〇〇〇〇〇				運送会社		△△△△						
住 所		〇〇〇〇〇				住 所		△△△△						
電 話		平日・昼間 000-000-0000 休日・夜間 000-000-0000				電 話		平日・昼間 000-000-0000 休日・夜間 000-000-0000						

品名	シアン化ナトリウム
災害拡大防止処置	
<p>飛散したとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 吸入、皮膚及び眼に対する刺激性が強いため、必ず保護具を着用し風上で作業する。 ② 空気、熱と接触すると有毒なシアン化水素を発生する。 ③ 飛散したものは空容器に完全に回収し、その後水酸化ナトリウムの水溶液でアルカリ性にした後、酸化剤（次亜塩素酸ナトリウム、サラン粉）の水溶液で酸化処理を行い多量の水で洗い流す。但し、河川、用水路には流さない。 <p>周辺火災のとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 容器を安全な場所に移す。 ② 移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水する。 <p>救急措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 皮膚に付着した場合は、直ちに衣服や靴を脱がせて、石けん水で洗浄し多量の水で十分に洗い流す。 ② 吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静・保温を保ち、呼吸困難な場合や呼吸が停止している場合は、人工呼吸を行う。 ③ 眼に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗う。 ④ 患者が発生した場合は、もよりの病院へ運ぶ。 	
特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ① 吸入・皮膚に付着するとシアン中毒、薬傷を起こす。 ② 眼に入ると結膜炎を起こす。 	

品名	液 化 ア ン モ ニ ア											
該 当 法 規 対 応 ・ 危 険 有 害 性												
消 防 法						毒 物 及 び 劇 物 取 締 法		高 圧 ガ ス 取 締 法				
類 別						性 質 (法別表)	品 名 (法別表)	毒 物	劇 物	特 定 毒 物	一 般 高 圧 ガ ス	液 化 ガ ス 石 油
第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 4 類	第 5 類	第 6 類							
特 性	危 険 性			有 害 性		環 境 汚 染 性		性 状				
	禁 水 性	爆 発 性	可 燃 性	有 毒 ガ ス 発 生	目 ・ 皮 膚 に 触 れ る と 危 険	河 川 へ の 流 入 注 意	固 体	液 体	気 体	水 溶 性		
		●	●	●	●					●	●	
事故発生時の応急措置 ① 車を、安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害にならないような場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする) ② 事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。 ③ エンジンの熱や火花は着火源になります。 ④ 保護具を着用し、漏れ止め・回収・消火等を行う。												
緊急通報 119 (消防署) 110 (警察署) 〔緊急通報例〕 1 いつ ○○時○○分頃 2 どこで ○○市○○地区(国・県・市)道○○号線 ○○付近で 3 なにか 「液化アンモニア、(劇物、高圧ガス)」が 4 どうした 漏れています、漏れて火災になっております 5 ケガ人は ケガ人がいます(救急車をお願いします)ケガ人はいません 6 私の名前は ○○運送会社 ○○です												
緊急連絡(特に休日・夜間に確実に連絡が取れる部署の電話番号を記入する)												
荷送会社		○○○○○			運送会社		△△△△					
住 所		○○○○○			住 所		△△△△					
電 話		平日・昼間 000-000-0000 休日・夜間 000-000-0000			電 話		平日・昼間 000-000-0000 休日・夜間 000-000-0000					

品名

液化アンモニア

災害拡大防止処置

漏洩したとき

- ① 有毒・爆発性ガス（アンモニア）が発生するので、必ず保護具を着用して、風上で作業する。
- ② 漏洩箇所を濡れた布等で覆い、ガス状のアンモニアに対しては遠くから霧状の水をかけ吸収させる。
- ③ 排水する時は、土砂等で拡大防止を図り、希塩酸、希硫酸で中和させたのち多量の水で洗い流す、但し直接河川、用水路には流さない。

周辺火災のとき

- ① 容器を安全な場所へ移動する。
- ② 移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水する。

発火したとき

- ① 可能であれば、漏洩を止める。
- ② 消火する場合は水噴霧、粉末消火剤を用いて消火する。

救急措置

- ① 皮膚に付着した場合は、直ちに衣服や靴を脱がせて、多量の水で十分に洗いながす。
- ② 吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静・保温に保ち、呼吸困難な場合や呼吸が停止している場合は、人工呼吸を行う。
- ③ 眼に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗う。
- ④ 患者が発生した場合は、もよりの病院へ運ぶ。

特記事項

- ① 皮膚に触れるとやけど（腐食性薬傷）やしもやけ（凍傷）を起こす。
- ② 眼に入った場合、結膜や角膜に炎症を起こし、失明する危険性が高い。